ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

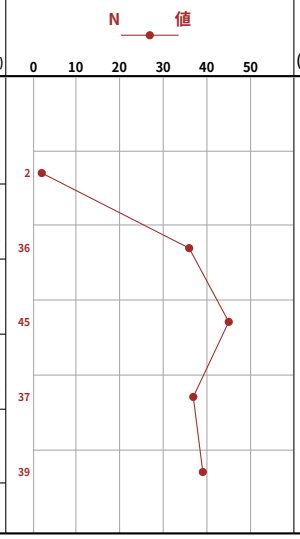
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.B-6(G202)	調査位置				北　緯	36 ° 55 ' 02.0000 "
発注機関	栃木県日光土木事務所		調査期間	2009-07-11 ～ 2009-07-11		東　経	139 ° 32 ' 02.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	98.19 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 30.00 °
総掘進長	5.45 m	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	96.39	1.80	1.80		礫混じり粘土 (CH-G)	暗灰			擁壁築造時の埋戻し土である。粘土及びφ2～50mm程度の角礫からなる。		
2	92.74	3.65	5.45		強風化頁岩 (Sh)	黒灰			網目状であり、バラバラになる。		07/11 5.45
3						黒灰			岩片状コアが多い。亀裂面は風化が進み、褐変し軟質である。4.7～4.9mは珪質である。		
4											
5											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1			2／30	2
1.45	20	1			
2.15	8	12	16	36／30	36
2.45					
3.15	15	17	13	45／30	45
3.45					
4.15	9	14	14	37／30	37
4.45					
5.15	13	11	15	39／30	39
5.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						07/11